

一系乱れぬ部隊訓練 など披露

20日、市役所春日野駐車場で上越地区3市の消防団員が一堂に会して日頃の訓練の成果を披露する「第20回上越消防大会」が行われました。

各市の代表が、行進などの集団行動を行う部隊訓練や、火事現場での放水の正確さを競うポンプ操法など、日頃の厳しい訓練の成果を披露しました。



日本共産党が 8月1日に演説会を計画 リージョンプラザで夜7時から

日本共産党上越地区委員会は、8月1日、リージョンプラザ上越コンサートホールを会場に、「はしづめ法一を県政に 8・1 演説会」を開催します。

上越市議会はしづめ法一日本共産党議員団長のほか、日本共産党国対委員長の井上さとし参議院議員が、軍国主義化に走る暴走安倍政権をどう退陣に追い込むか、県政改革で県民の暮らしを守るにはどうするかなどを、たっぷりと語ります。

市内各地から、無料送迎バスが運行されます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.420 2014年7月27日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)



葉酸たっぷり？の昼食メニュー

一昨年は、発電所のためのネットワークづくり・地域通貨発行・制度の研究などを、昨年は木質バイオマス発電所の設計・資金調達・発電所建設に取り組み、今後、遅くない時期に発電スタートという流れになっています。

農水省の補助事業を活用したこの取り組みは、山間の多い上越市でも活用できる可能性が大いにあります。

千葉県山武市での視察は、環境問題がテーマです。山武市は、山武杉で有名なところですが、スギ非赤枯性

はしづめ議員など一行は、市役所近くの食堂で、葉酸を多く摂取できる料理を昼食にとり、効果を確かめました。

昨年、山武市では、耕作放棄地や、山武杉の被害木と合わせて、木質ペレット燃料の原料として利用するという事業を行ってきました。この事業をさらに発展させて、みんなの森の発電所を造ろうというのです。

青年層の人材育成事業など学ぶ 文教経済常任委員会行政視察

平良木議員の属する市議会文教経済常任委員会は、このほど山陰地方を訪れ、地域経済活性化などに関する行政視察を行いました。

このうち、鳥取県倉吉市では、「地域産業を元気にすることで、結果として市民の生活をよりよくすることが地域産業振興の究極の目的である」という考え方で、議員提案によって制定された「倉吉市くらしよし産業元気条例」と、その条例を具体化した「倉吉市地域産業振興ビジョン」について学びました。

ここでは、地産農産物の加工を行う企業など、3年間で数百人を超える雇用を生み出す10社の企業の誘致に成功しているほか、地域産業活性化推進員の配置で、製品の出口＝販売策を意識した商品

開発の支援に取り組んでいます。

行政運営を統括する企画部門が、各部署の連携を推進し、総合的な事業にできたことが力になっているとのことでした。

また、島根県雲南市は、中山間地にある過疎と高齢化に悩む地方都市ですが、地域を支える人材育成に取り組んでいます。特に、青年層が働く仕事が見つけられないことから、社会起業家や地域貢献を志す若い人材を掘り起こす「幸雲南塾」という地域プロデューサー育成講座を行い、すでに実際に起業した若者や、各所で活躍する青年を輩出しています。

今では、青年層が自ら運営するNPOが、事業の主体となって高校生をも含めた展開を行っているとのことでした。



白壁土蔵の街、鳥取県倉吉市にて



島根県雲南市で青年人材育成を学ぶ

市民あげてのバイオマス発電

厚生常任委員会行政視察

はしづめ議員の属する市議会厚生常任委員会は、このほど千葉県、埼玉県などで、健康増進の取組などを学ぶ行政視察を行いました。

埼玉県坂戸市では、健康増進の一環としてビタミンB群の一種である「葉酸」の摂取に着目した取組を進めています。

「健康づくり応援店」の認定、女子栄養大学などと連携したメニュー開発など、ユニークな取り組みで、市民の健康を増進させようという事業です。

溝腐病で、8割が被害にあっているといわれています。ここでは、市内産木材使用の住宅への補助事業、ウッドバイオマスプラスチックの活用、ペレットストーブの普及など、林業振興のための事業に積極的に取り組んでいます。

そうしたなかで興味深かったのは、市民みんなで木質バイオマス発電所をつくらうという取組です。

これまで、山武市では、耕作放棄地や、山武杉の被害木と合わせて、木質ペレット燃料の原料として利用するという事業を行ってきました。この事業をさらに発展させて、みんなの森の発電所を造ろうというのです。